

「フレンテみえ」相談室より

今回の調査研究では、先の大震災以降、被災地でどのような取組が行われたのか、特に「相談」に焦点を当てて、情報収集を行いました。調査の中で、被災地の男女共同参画センターがいちはやく相談を開設し、自身も被災者であるにも関わらず、相談を通じた直接支援に加え、相談から見えたニーズを男女共同参画視点で捉え直し、様々な救援に活かす取組が行われていたことがわかりました。これらの取組から、男女共同参画センターが地域で果たす役割の大きさと、女性の声が大切に扱われる対応に心強さを感じました。

また、たくさんの取組報告から、避難所運営や復興支援に男女共同参画の視点が活かされたことで、声を挙げにくいけれど、多くの人が必要としている支援につながったことが明らかとなりました。

この男女共同参画の視点は、「相談現場」でも同じように重要です。それは、本書第3部の事例にあるように、私たちの中に潜む“ジェンダーによる生きづらさ”が、災害時の相談に数多く見られたことから、重要性が理解できます。その“ジェンダーによる生きづらさ”は、普段私たちが対応している相談と共通している問題です。

フレンテみえ相談室では、無意識に取り込まれたジェンダーにとらわれず、自分らしさを取り戻し、社会を生き抜いていくための力を引き出すエンパワーメントの視点をもって相談に応じています。

例えば、周囲の期待や自分の中にある「母親としてのあるべき姿」に自分が追い付かず、周りの目を気にしすぎて、自信を失っている女性には、「母親役割を持つ女性」としてではなく、一人の尊重されるべき人として、どんな気持ちを感じ、どうしていきたいのかを大切に聴き、本来持っている自分の力を発揮して自己決定ができるようサポートを行っています。

今回の調査研究を通し、相談業務の役割を再確認しました。それは、個別の相談に対応することに加え、相談だからこそ語られた声の中から、社会的な共通課題を捉え、事業や施策に結びつけていくという重要な役割です。その役割を果たすためには、相談を受ける立場として日頃から男女共同参画の視点に敏感であるだけでなく、語られる相談の中に見られる問題の傾向をつかみ、社会問題と照らし合わせて考える視点が必要です。

大きな役割を期待される相談業務ですが、もしも相談員が孤立した体制であったなら、安全な相談にはつながりません。相談員自身が安心して取り組める相談体制づくりも、個別の相談対応とともに重要だと捉える必要があります。

また、一機関では対応しきれない相談内容が、関係機関との連携により、相談者にとってさらに適切なサポートにつながるのだということも再認識しました。

平時にできないことが災害時にできる、ということはなかなかありません。

自分を抑制し委縮させている意識から自らを解放し、自分らしさを取り戻すために必要なこれらの視点を、多くの現場で活かすことが、男女共同参画社会への大きな基盤につながると考えています。

三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」相談室

参考資料など（順不同）

※本文中の引用等の有無に関わらず、本書作成にあたり参考としたものを掲載しています
※掲載資料などの発行団体名などは、発行時のものです

- 「三重県新地震・津波対策行動計画」(平成 26 年)／三重県
「三重県地域防災計画－風水害等対策編」(平成 27 年)／三重県
「三重県避難所運営マニュアル策定指針」(平成 25 年)／三重県
「津市地域防災計画」(平成 26 年度修正)／津市
「男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針」(平成 25 年)／内閣府
「男女共同参画白書」(平成 24～27 年版)／内閣府
「スフィア・プロジェクト：人道憲章と人道対応に関する最低基準(スフィア・ハンドブック 2011 年版)」(2012 年)
／特定非営利活動法人 難民支援協会
「横浜市男女共同参画センター 災害時における女性相談窓口マニュアル」(2014 年改訂)
／公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会
「東日本大震災被災地における女性の悩み・暴力相談事業報告書」(平成 26 年度)／内閣府
「災害時における男女共同参画センターの役割調査報告書」(2012 年)
／内閣府男女共同参画局・特定非営利活動法人全国女性会館協議会・公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会
「女性関連施設の災害関連事業に関する調査報告・事例集」(平成 25 年)／独立行政法人国立女性教育会館
「男女共同参画の視点で実践する災害対策 テキスト 災害とジェンダー〈基礎編〉」(2013 年)
／東日本大震災女性支援ネットワーク
「災害支援にジェンダーの視点を！こんな支援がほしかった！
現場に学ぶ、女性と多様なニーズに配慮した災害支援事例集」(2012 年)／東日本大震災女性支援ネットワーク
「男女共同参画・多様性配慮の視点で学ぶ防災ワークブック」(2014 年)／減災と男女共同参画研修推進センター
「東日本大震災『災害・復興時における女性と子どもへの暴力』に関する調査報告書 2015 年 1 月改訂ウェブ版」(2015 年)
／東日本大震災女性支援ネットワーク
「災害時・被災者支援業務の手引き(案)」(平成 17 年)／内閣府
「災害時こころのケア活動マニュアル」(平成 25 年)／三重県健康福祉部
「災害時の「こころのケア」の手引き」(平成 20 年)／東京都福祉保健局
「女性のための相談事業ハンドブック」(1999 年)／財団法人大阪府男女協働社会づくり財団
「相談員のための相談実践マニュアル ～横浜女性フォーラムにおける男女共同参画をすすめる相談～(2003 年)
／財団法人横浜女性フォーラム
「配偶者からの暴力 相談の手引 ～配偶者からの暴力の特性の理解と被害者への適切な対応のために
平成 26 年 3 月改訂版」(平成 26 年)／内閣府男女共同参画局
「心理的応急処置(サイコロジカル・ファーストエイド:PFA)フィールドガイド」(2011 年)
／日本語版翻訳(独)国立精神・神経医療研究センター、ケア・宮城、公益財団法人プラン・ジャパン
「地方自治体等における男性に対する相談体制整備マニュアル(改訂版)」(平成 26 年)／内閣府男女共同参画局
「2011 年度 GEMC ジャーナル 第 7 号『災害とジェンダーをめぐる諸問題(遠藤恵子)』」(2012 年)／東北大学グローバルCOE
「イーブン 5 周年記念誌 21 世紀へ とどけ！イーブンからの風」(1997 年)／兵庫県立女性センター
「災害で大切な人をなくされた方を支援するためのウェブサイト」(ホームページ)／災害グリーフサポートプロジェクト(JDGS)
「報告『女性の悩み災害時緊急ダイヤル』」(ホームページ)／公益財団法人せんだい男女共同参画財団
「複雑性悲嘆のための筆記療法(ITCG プログラム)研究ウェブサイト『ご遺族の周囲にいる人ができること』」(ホームページ)
／JITCG
「こころのケアチームマニュアル」(ホームページ)／災害時こころの情報支援センター
「女性の健康『緊急避妊 Q&A』」(ホームページ)／一般社団法人日本家族計画協会
「三重県男女共同参画センター 相談事業のまとめ」(平成 25・26 年度)／三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
「男女共同参画の視点からの災害発生時における施設職員対応モデルおよび施設避難所活用モデル」(平成 26 年)
／三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

このほか、関連研修・会議などでの講話や資料等も広く参考とさせていただきます。ありがとうございました。

平成 26・27 年度 三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」
調査研究報告書

災害時における男女共同参画視点による相談対応マニュアル

2016（平成 28）年 3 月

発行： 公益財団法人三重県文化振興事業団
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ」

住所：〒514-0061 三重県津市一身田上津部田 1234
電話：059-233-1130 FAX:059-233-1135
E-mail：frente@center-mie.or.jp
URL：http://www.center-mie.or.jp/frente/



P-00061
この印刷物は、CSR
に取り組む印刷会社が
製作した印刷物です。



GREEN PRINTING JFPI
P-B10216
この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。